

(別紙)

「研究業績」の作成について(2007.4)

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌^{*1}、(b)紀要^{*2}、(c)プロシーディングス、E.その他^{*3}、F.報告書・事業報告書等^{*4}、G.特許・設計等、H.国際学会発表^{*5}、I.国内学会発表^{*5}の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C.原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度)にしてください。

- *1: 学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2: 試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3: 商業雑誌、資料等を記載する。
- *4: 調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- *5: 最近5カ年について記載する。(教授選考の場合、I.国内学会発表は不要)
- *6: 英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

- *7: 学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *8: 論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はポールド(太字)とする。
- *9: Journal は略記する。
- *10: 発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

記載例

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. 出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
岩手の農業 (大学太郎, 学部一郎編), 堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)
アメリカの農業 (A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), 社, 東京, pp.20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

(注) 執筆した表題等は表記する必要はありません。

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究.[学修士または修士(学) 大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究.[学博士または博士(学) 大学]

C . 総説・論説

- 1 . 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布 . 岩手の自然 3 : 1-5.
- 2 . 岩手一郎 , 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布 . 岩手植物誌 15 : 215-220.

D . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究 . 日動学誌 5 : 15-20.
- 2 . Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
- 3 . Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

- 1 . 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について . 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

- 1 . Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E . その他

- 1 . 盛岡次郎 , 岩手一郎 (1990)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査 . 野生動物 125 : pp.35-45.

F . 報告書・事業報告書等

- 1 . 盛岡次郎 , 岩手一郎 (1993)
イヌワシのPCB汚染 . 自然動物調査報告 (県) , pp.10-11.

G . 特許・設計等

- 1 . 盛岡次郎 , 岩手一郎 (1993)
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H . 国際学会発表 (最近 5 年間)

- 1 . Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I . 国内学会発表 (最近 5 年間)

- 1 . 岩手一郎 , 盛岡次郎 (1997)
岩手の野生動物 . 第 100 回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.